

知的生産性向上サービス

インタラクション空間を活性化して、衆知結集の文化を作り上げる

社員が互いに議論や情報交換する インタラクション空間は、知的生産性向上のために重要です。窓際の談話コーナー、雑誌を置いた小部屋…。しかし、インタラクションが活性化していない事例も多いようです。インタラクション空間を活性化すれば、「知見共有」、「衆知結集」という2つの大きな果実を得ることができます。

「知見共有」とは、ファクトとロジックを交換し合うことです。ファクトとして、例えば、紫外線照射で野菜室の野菜の栄養価を高めてヒットした冷蔵庫の話を考えましょう。これを解釈すると「開発には暗黙の方向性がある。冷蔵庫の場合は保存物の劣化遅延だ。この暗黙の方向性を自覚し、あえて異なる方向性を考えることで、従来にない発想ができる」というロジックに展開できます。このような、ピンときたファクトとロジックを、仲間で集まって共有するのです。「衆知結集」は、テーマや課題に対して、皆が知恵を出し合うことです。誰かが自分の課題、テーマの仮説を示し、参加者が、これを建設的に叩き、躊躇の無いアイデアの提供をします。

インタラクション空間の活性化

インタラクション空間で、これら2つのことができれば、それが波紋のように組織に広がり、いつでもどこでも、時間があれば「知見拡充」、「衆知結集」を行う文化を植え付けることができます。この文化風土は、一人ひとりの社員に、以下の力をもたらします。

- | | |
|------|---|
| 知見拡充 | → 1) 仲間と共有する知見を獲得するため、ピンと来る力、「気付き力」が高まる |
| | → 2) 仲間との知見共有で、「多様な視点」、「課題解決の知識」を充実できる |
| 衆知結集 | → 3) 仲間につける仮説作りで、「最後まで考え抜く」癖がつく |
| | → 4) 衆知結集の力を知り、自ら有識者に会いに行く「行動力」が得られる |

弊社は、知見拡充、衆知結集を日頃から書き留めておくノートなど「**ツール提供や空間整備**」と、インタラクション空間でこれら2つのコミュニケーションを推進する「**ファシリテーターの派遣**」によって、インタラクション空間を活性化し、組織全体に、知見拡充、衆知結集の文化を植え付けます。

デモンストレーション

弊社では、知見拡充、衆知結集のデモンストレーションを実施しています。

弊社ファシリテーターが、実際に知見拡充、衆知結集の「ノート」を使って、参加者の間で知見を共有し、衆知を結集するデモンストレーションを行います。(デモンストレーションは、4, 5人で2時間半程度で行います)

デモンストレーションに費用はかかりません。メールでお申し込みください。

お申し込み先：takashi_ueda@kokuyo.com、noma@act-consulting.co.jp